



入賞作品

## 時を重ねた美しい物

明治生まれだった祖母の和箆笥は、主人が生まれる前から居間に置き、毎日使う衣類や生活道具を入れ、時間を重ねていました。十七年前、住まいを変えてからは、役目を終えたように祖母の部屋で時々出し入れするだけとなっていました。そんな箆笥を改めて見ると、外れた背板や取っ手、また家族で繕った手直しの跡。修理が出来たらと思っていた頃、「木工房ひのかわ」さんの家具の再生を知りました。具体的なイメージを伝え、あとは全てお任せしました。数ヶ月後、職人さんの丁寧な手仕事により再生されたサイドボードとチェストは、再び居間に置きました。その日以来、嫁いだ頃の四世代で暮らした暖かい空気が流れているのを感じます。

永年使つて出来た傷や繕いの跡は、全て生活を支えてきた証。物は十分足りている現代、これからは、時を重ねてきた物の意やそれらを大切にしたい先人の思いを知り、物に向き合う。そんな時代に来ていると思います。それらが職人さんの手を通し出来た時、きつと心が満たされると今回の件で思いました。

熊本県 清田裕美子さん

(修理店) 有限会社 木工房ひのかわ